



# ひと ひと 女・男 ひろば

< 第43回 >



## 市民大学に参加して

福島  
阿部 知二さん

気軽に市民大学の「ひと・ひといきいき講座」に申し込んだのですが、出席してみると20歳代から80歳代まで幅広い層の男女が参加しており、関心の高さに驚かされました。

講師の先生も20歳代から50歳代までさまざま、それぞれの分野の現役で活躍しておられる方々が、自分たちの仕事を通して、女と男に関わる話しをすすめてくださったので、久しぶりに新鮮な気持ちで学習することができました。

経済不況による賃金ダウンやリストラなどで、男性の経済力が低下し、かわりに主婦のパートタイマーなどで女性の経済力が上昇して、男性優位が崩れています。また核家族化が進んで必然的に二人暮らしが多くなり、家事も男性が分担せざる得なくなっています。

日ごろあまり意識していない女と男の関係を、今後はそれぞれの地域社会で大いに話し合い、分かり合うことが非常に大切なのだと、今回の講座で改めて認識しました。

## 新津市の人口

	平成16年8月31日現在(前月比)	前年同月比
男	32,698 (+ 7)	(+ 121)
女	35,353 (+ 17)	(+ 198)
計	68,051 (+ 24)	(+ 319)
世帯数	22,099 (+ 24)	(+ 493)

### 8月中の動き

出生	45	死亡	51	転入	146
転出	116	結婚	20	離婚	4

# 新津の文化財

(その3)



## 獅子踊り歌詞秘書 五巻

市指定文化財  
所在地/新津市図書館  
所有者/小戸下組獅子保存会

獅子踊り歌詞秘書は、文化十年(一八三三年)に当時の和田村と庚村(現在の新潟市)から授与されたものです。「花見の舞い」など十三種の歌が達筆に記されている歌詞は、五巻に分けて巻軸に表装され、内容の全長は8・42に及びます。

民俗芸能や民謡など無形のもの、その伝播経路や年代、歌詞などの来歴を知るための史料が不明な場合が多い中で、この歌詞秘書は貴重な民俗史料となっています。

## 小戸下組獅子踊り

市指定文化財  
所在地/新津市大字小戸下組  
所有者/小戸下組獅子保存会



この踊りは、文化十年に歌詞秘書を授与されたことから始まり、歌詞によって踊り方が少しずつ変化する、二十四の踊りで構成されています。

現在では、四人の踊り手と太鼓二人、笛二人の合計八人が一組となっており、「花見の舞い」など三つの踊りが毎年八月の八幡宮の祭礼で演じられています。雄獅子や雌獅子、矢来獅子の三人が笛・太鼓に合わせて躍動的に踊り、これに道化役の爺面が絡む場面もあります。

好きです！きれいなまち・新津

# ポイ捨てしま宣言!!

新津市内では、犬の飼い主に、犬のふんの即時回収や公園の砂場でのふんの禁止が、条例により義務付けられています。  
※市民と市内通行者に適用



違反者には 指導・勧告・命令  
…最終的には 3万円以下の罰金

市民生活課  
環境衛生係  
☎24-2111  
内線232